

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
1	全科		美術 I	2	浦田
担当者(担当クラス)		1組～7組			
この科目を履修するための条件や準備					
美術の基礎を丁寧に伝えていくことにより、生涯にわたり少しでも美術に関心が持てるように心がける。					
この科目のねらい 目標					
美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。					
具体的な指導方法					
素材・技法等の丁寧な説明と個々の能力を伸ばす工夫をする。					
使用教材					
使用する教科書			使用する副読本		
光村図書 美術 I			なし		
評価方法					
学習活動への参加状況や態度、作品の内容					
年間授業計画					
I. 1学期中間考査まで					
①美術の大きな流れ、工芸との違い ②色彩の特徴 1. 絵の具・筆・画用紙の使い方 2. 明度・彩度・色相・補色 3. 技法 ③形の特徴と言葉の表現 1. 立体的な見方 2. 言葉のイメージ 3. 色鉛筆の使い方 →4、5月の自宅課題と1学期末考査後の補充授業で対応する。					
II. 1学期期末考査まで					
①平面での立体表現 1. 2点透視図法 2. 等角投影法 3. グラデーション ②映像を使つてのアート鑑賞					
III. 2学期中間考査まで					
彫刻 1. プラスの作業から生まれる彫刻(土、油土など)とマイナスの作業から生まれる彫刻(木、石など) 2. 素材の特性 3. 道具の使い方(彫刻刀、ナイフなど) 4. 安全な作業の方法					
IV. 2学期期末考査まで					
①彫刻 1. プラスの作業から生まれる彫刻(土、油土など)とマイナスの作業から生まれる彫刻(木、石など) 1. 仕上げの方法(空研ぎ・耐水ペーパー、塗料、ニスなど) 2. 展示の工夫 ②映像を使つてのアート鑑賞					
V. 学年末考査まで					
①平面作品と立体作品のまとめ(素材・技法・作業内容の確認) ②映像を使つてのアート鑑賞					